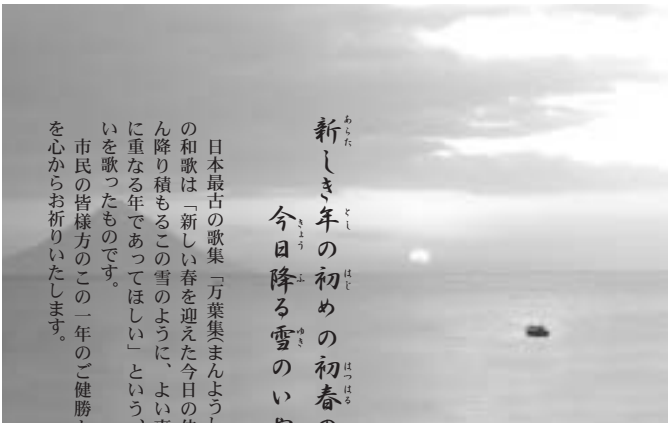


新年明けまして おめでとうございます

枕崎市長 瀬戸口嘉昭



新しき年の初めの初春の
今日降る雪のいや重け吉事

日本最古の歌集「万葉集まんようしゅう」にあるこの和歌は「新しい春を迎えた今日の佳き日に、ずんずん降り積もるこの雪のように、よい事（吉事）が次々に重なる年であってほしい」という、新春の喜びと願いを歌ったものです。
市民の皆様方のこの一年のご健勝とご活躍、ご多幸を心からお祈りいたします。

昨年は、全国的に豪雨や竜巻など、災害が多い年でした。本県におきましても、県北部の豪雨災害は甚大でありまして、心からお見舞いと一日も早い復旧を願っております。幸い枕崎におきましては、災害もなく、ありがたいことでした。
さて、昨年は、合併問題、社会福祉協議会の問題などで市民の皆様にはご心配をおかけしました。合併問題は、力及ばず申し訳なく思っておりますが、今後とも、あらゆる可能性を探って努力してまいります。社会福祉協議会の問題は、市としても鋭意再調査するとともに、外部委員による調査もお願いいたしたい、市民の皆さんに報告できるように努力いたします。

今、どのまちでもそうですが、年々人口が減少し、まち中の活気がありません。何となくでも市外から一人でも多くのお客様においでいただくこと、いわゆる交流人口を増加させることに努めなければなりません。

枕崎は、かつお節やその関連のさまざまな製品、焼酎、お茶、お花、黒豚、園芸作物など多くの産物に恵まれ、その上、地場産業振興センター、お魚センター、かつお公社をはじめ、南浜館、明治蔵などがありますので、県内外の方々に来ていただき、

楽しんでいただくよう、これらの産物や施設を総合的に結びつけ、宣伝していくことに更に力を注ぎたいと考えています。そのためにも、五月の「かつお祭り」や八月の「きばらん海枕崎港まつり」、野球や弓道大会など、県内外に知られた大きなイベントが開かれ大盛況だったことは嬉しいことでした。
さらにまた、秋の農業祭と新酒祭りに漁協の枕崎ぶえん祭りが加わり、市民の手作りによる食の祭典が賑わうなど、一段とまちの活気づくりができたことをありがたく思っております。

枕崎は日本一のかつお節の産地です。そのかつお節の製法が、枕崎に伝来して、今年で三百年になるということです。水産加工組合では、ロゴマーク（宣伝図案）の作成や産地入札会の時期に合わせてイベントを計画するなど、この一年を枕崎のかつお節を全国に向けて発信する好機としたいと張り切っております。市としても、できる限りの支援をしてまいります。

今年二月二十五日には、川辺地区の植樹祭が枕崎で開催されます。会場は、瀬戸公園の隣接地を瀬戸桜公園として現在整備中です。この整備につきまして、別府地区の瀬戸管理委員会から多額の浄財を寄付していた

いただきました。心からお礼を申し上げますとともに、一年中親しんでいただけたような公園にしたいと考えております。
また、一昨年の火災により閉館しておりました南浜館が昨年十月七日に再生開館いたしました。早速「枕崎の作家たち展」をはじめ、さまざまな催しが次々に開かれております。お誘い合わせご来館ください。

今、枕崎市は財政が極めて厳しい状況にあり、全力を挙げて行財政改革に努めています。このような中では、これまで行政が負担してきたサービスをそのまま継続していくことはとてもできません。今後、市民の皆さんやNPO、企業の方々が持っている力をお借りし、市民の方々と行政が手を携えて役割分担とその責任を果たす仕組み、いわゆる市民協働をお願いする必要があります。これまでもホームページやネットワークの皆様方など多くの方々に協力をいただいておりますが、今後、もっと広く市民の方々の協力をいただくと、市民の方々の協力も、市民の方々の協力もいただながらすすめていきます。

市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

褒章・叙勲受章者を讃え 祝賀会を開催



藍綬褒章 中原行男さん (75) 写真前列中左
旭日小綬章 岩下 勉さん (76) 写真前列中右

平成18年に褒章・叙勲を受章された方2名を祝う祝賀会が12月10日、地場センターにおいて開催されました。祝賀会に賛同した方々80名あまりが出席され、受章を祝いました。

岩下敏子さん(栄中町)に瑞宝双光章

岩下敏子(88)さんが高齢者叙勲で瑞宝双光章を受章され、その伝達式が12月1日、市役所で行われました。

岩下さんは、昭和39年3月から平成10年9月までの34年余の長きにわたり、川辺保護区保護司として更生保護事業に従事し、その間、

地域社会の犯罪予防活動と数多くの保護観察対象者の改善更生に尽力されました。

また、民生児童委員として地域の福祉の向上に、さらに、人権擁護委員としても地域住民の人権擁護の向上に尽力されました。

旧南薩線跡地について

市所有の旧南薩線跡地については、利用計画に基づき、現在、花渡川・中洲川水系の水害防止対策などの災害対策事業や交差点改良などの交通安全対策事業等の公共工事を進めてきています。
また、公共工事等に供する

旧南薩線跡地を 公売します

旧南薩線跡地について、今回は次の物件を公売します。だれでも簡単に参加できますので、お気軽にお問い合わせください。

- 公売する土地 枕崎市明和町49番2・49番3
地目：雑種地
面積 ①250.0㎡ ②250.0㎡ ③275.0㎡(現状渡し)
- 公売方法 一般競争入札
- 現地説明会 2月2日(金)
- 午後1時30分現地集合
入札期日 2月7日(水)
受付：午後1時開始：午後1時30分
- 入札場所 市役所2階会議室
※入札参加方法、その他詳しくは、財政課財産管理係(☎7211111 内線2233)にお問い合わせください。

